

第 87 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 4 月 5 日(月)10：30～11：20

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 緊急特別対策の状況、ワクチン接種に関する状況等について、各本部員から報告があった。
- ◇ 飲食店等における感染拡大防止プロジェクト及び水際対策プロジェクトについて各本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監
(TV会議参加：木村宮古兼八重山保健所長、金城 宮古事務所長)

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 4/4 の新規発生は 96 名、合計 9891 名、入院中 284 名、うち重症 2 名、うち中等症 108 名、入院調整中 126 名、宿泊施設療養中 139 名、自宅療養 293 名で療養中患者計 842 名となっている。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県立病院全体で本日 54 名入院しており、前回の報告より 20 名の増加である。確保病床の 28.7%を占めている。
 - ✓ 北部病院は 16 名、中部病院 15 名、南部医療センター 9 名、宮古病院 7 名、八重山

病院 1 名、精和病院 6 名で満床となっている。

- ✓ 県立北部病院は、感染者が急増している。60 代以上はいないが、変異株が気になる。早期に宿泊療養施設を開設して欲しい。
- ✓ 南部医療センターは、非コロナ病床がほぼ 100%で、一般の入院を減らさなければならず難しい状態である。また、職員 1,080 人に 2 回目のワクチン接種し 8 人が副反応で休んだが重症ではなかった。
- ✓ 宮古病院は、3/11 から 2 回目のワクチン接種が始まっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】
 - ✓ 4 月 3 日の昨日 1 日で 13 名発生しており、前日より増加している。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
 - ✓ 療養者数 842 名で第 4 段階、病床占有率 94.4%で分母が 301 床、分子の入院者数が 284 名である。昨日医療フェーズを本島 4 から 5、離島 3 B から 4 に引き上げた。重症者 2 名、新規感染者数 649 名、感染経路不明 53.9%と上昇してきている。
 - ✓ 新規感染者数が、4 週間連続増加している状態にある。飲食の関連は減少の兆しはあるが、全体の減少には繋がっていない。
 - ✓ 国の判断指標でもステージ 4 が 3 つ、ステージ 3 が 1 つ、ステージ 3 から 4 が 2 つ、PCR 検査の陽性率だけがステージ 1 から 2 の状態である。
 - ✓ 非コロナの病床利用率は、改善していないが、ここからコロナ病床へ持って行くことを各病院と調整している。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規感染者数を全国と比べると、沖縄県は 42.57 人で全国第 1 位、2 位が宮城県、3 位が大阪府となっている。全国的に増加の状態になっている。

- ✓ 直近 1 週間の県内の保健所管内の地域別の感染状況を見ると、全体で 649 人。感染が拡大しているのは、那覇市・中部・南部であるが、北部保健所管内が 20 名とこれまでより増加しており懸念している。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は低く、若い人がまだ中心である。1 月の動きを見ると施設等のクラスターにより高齢者の割合が増加する。そうなると、中等症以上も一気に増加することになるので、総括情報部でも施設等へのクラスター対策を行っているところである。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 総括情報部から宿泊施設の状況について報告
 - ✓ 北部以外の宿泊施設は全て稼働しており、141 名入所している。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】

- 総括情報部から各地の人口変動状況を報告
 - ✓ 先週からわずかな減少に留まっている。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 直近は浦添市のスナック及び大学生がペンションで 10 名ほど集まった飲み会でクラスターとなっている。同様の飲み会が 3 月に多かったのではないかと考えている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 6】

- 総括情報部から、昨日時点の宮古・八重山地域の状況を報告
 - ✓ 宮古地域は、連日数人単位で発生している。これが流行に繋がらないよう気をつける必要がある。
 - ✓ 八重山地域は宮古地域ほどではないが、隔日で新規陽性者が発生しており注視している。
 - ✓ 宮古保健所から補足説明、感染経路不明は 2 割程度の状態なのでこのまま減少

に向けて取り組む。

- ✓ 八重山保健所から補足説明、直近の陽性者は現在中部に居住していることが分かっている。

(1～7までの報告事項に関する主な発言)

- 変異株の問題で、宿泊療養施設の再開はぜひ進める必要があると思う。今回、北部地区が増加しているが飲食店関連の状況はどうなっているのか。
 - 総括情報部から、宿泊療養施設の再開について先週リゾネックス那覇を開始、現在北部地区の開始の準備を行っていることを説明。
 - 北部での感染増加について、飲食関係が3名/22名中、宮古地区では、飲食関係が3名/11名中、八重山地区では1名/3名中の状況。
- 病床確保のためにも、宿泊療養施設の再開は急ぐ必要がある。北部の宿泊療養施設の開始はいつ頃の予定か。
 - 看護師が不足しているので、再度募集をしている。4月14日スタートで調整しているが早めに稼働できるよう努力する。

(8) 変異株について【資料7から7-1】

- 総括情報部から、変異株検査数及び陽性者数について報告
 - ✓ 国立感染研で951件検査し6件。2021年2月から県の衛生環境研究所でも検査可能となっており、276件検査し8件の変異株を見つけている。
 - ✓ 専門家会議から変異株に関するコメントを発している。県及び県民に対し注意を喚起したいということが出されている。

(9) ワクチン接種について【資料8】

- 総括情報部からワクチン接種に関して報告
 - ✓ 医療従事者向けのワクチン接種の2回目が始まっている。
 - ✓ 先ほど、2回目の接種を受けた方の副反応について病院事業局から報告があったが、その情報を参考に各病院とも副反応を考慮したスケジューリングを行っているところ。

(10) PCR検査強化事業について

- 総括情報部から介護従事者向けPCR検査強化事業について報告
- ✓ 昨年度の集計結果となります。延べ 67,759 回の検査を行ったところ 12 名の陽性者を確認、施設に広がる前に無症状の段階で発見することが出来、施設での感染拡大防止に役立ったのではと専門家会議からコメントがあった。

(8～10 までの報告事項に関する主な発言)

- 非コロナの病床稼働率が高くなっている。高齢者へのワクチン接種について、いつ頃始まっていつ頃終わるのか。
 - 国からは、高齢者向けは 4 月 12 日から開始可能と言われているので宮古島市で開始予定。4 月中は少ないので連休明けから増加する。6 月中にワクチンを全て届けるとのこと。後は、接種がどこまで進むのかが課題なので出来るだけ早く進めたい。
- 医療サイドとしては、早くワクチン接種をすることにより入院の入口を狭くする必要があるので、取組を進めて貰いたい。

(11) N A P P の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から N A P P 等の運用状況を報告
- ✓ 955 名検査して陽性者が 7 名、内訳として県内在住者が 565 名、県外在住者が 390 人となっている。
- ✓ T A C O については、発熱者対応はなかったが、電話相談件数が 33 件でした。
- ✓ R I C C A について、前回から 2 千件ほど増加しています。
- ✓ 安価な PCR については、3456 人受検して 3 名の陽性がありました。
- ✓ 県のアクションプランを決定した後に、医療界と観光業界で意見交換しました。N A P P の検査数を増やして欲しいことや、観光業界から店舗見回りについて人出をだすといった意見がありました。

(11 の報告事項に関する主な発言)

- ✓ 4/1 から T A C O と N A P P をまとめて実施していると理解しているが、O C V B

との相談体制について質問あり。

→相談等については、今までどおり対応可能だが、新たな意思疎通の方法について体制を確認する。

(12) 緊急特別対策の効果等について【資料 10】

- 総括情報部から飲食関係の推定感染源や外出自粛要請の効果について報告
- ✓ 飲食関係の推定感染は先週から減少しているが、営業時間短縮要請の効果はまだ出ていない状態。名護市は直近 1 週間で 3 %、宮古島市 2 % で大きな変動はない。
- ✓ 外出自粛要請の効果については、3/19 より 3/26 は少し減少しているがあまり変化はない。
- ✓ 移入例については、3 月後半からは県民の出張、スポーツイベントなどによる県民の往来が主になっている。

(13) 飲食店等における感染拡大防止プロジェクトについて【資料 10】

- 保健医療部から感染拡大防止プロジェクトを報告
- ✓ P T を設置したことと、組織体制の説明、実施内容の説明を行った。

(14) 水際対策プロジェクトについて【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から水際対策プロジェクトを報告
- ✓ P T を設置すること、会議を随時開催すること、那覇空港での検査拡充、離島空港での検査体制構築、離島関係市町村との連携、出発前検査の推奨 等を行っていくことを説明
- ✓ また、P T に宮古事務所と八重山事務所をメンバーに入れることを説明

(12 から 14 の報告事項に関する主な発言)

- ✓ 飲食店等に対する対応、水際対策 P T の決定について本部で内容を決めることになるのか。

→政策の決定は、それぞれの会議で決定。PTとしての方向を決定すると説明

- ✓ 水際対策については、拡充というより強化と説明した方がよいのではないか。
- ✓ OCVBとの連携については、定期で連絡する曜日を定める等の工夫をしたらどうか。

4 その他報告

特になし

5 閉 会